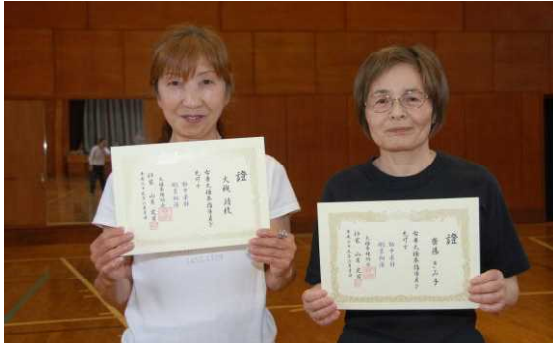


# 新指導員誕生

6月3日(土)前期定期試験後、山岸先生から新指導員2名が認定された。新しく認定されたのは、齋藤きみ子さんと大槻靖枝さん。美心会の指導員は野口会長



認定証を手にした新指導員

だけだったが、これで3名となった。

## なぜ蚊に刺される?!

蚊は夏のやっかいものだ。屋外で、室内でどこからともなく飛んできては刺す。どのように人を察知しているのだろうか。

蚊の生態の研究や殺虫剤メーカーへの情報提供などを行う会社「害虫防除技術研究所」(千葉県八千代市)所長の白井良和さんは、「蚊は体温、呼気の二酸化炭素、汗に含まれる乳酸と水分を、触覚や口の部分にある器官で感じる。皮脂の臭いも蚊を引き寄せる」と話す。最近、高校生が蚊に刺されやすい人は、足の常在

### ● 蚊は体温や二酸化炭素などで人を察知する



菌が多いということを発見した。専門家によると、人間が鼻でかぎ分けられる「匂い」とは別に、一部の常在菌が出す脂肪酸などの化学物質や、その割合が『蚊を興奮させ血を吸う行動をひきおこす』のではという。

「おとりとして、炭酸飲料を置いたり、汗を吸ったタオルをかけたりするだけでは、蚊はだまされない」

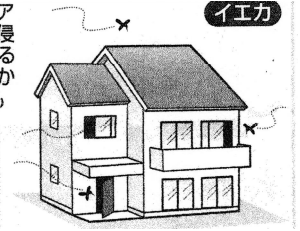
運動や入浴の後、飲酒時は刺されやすい。また、血液型がO、B、AB、Aの順に刺されやすいとの研究報告もあるが、因果関係は不明という。

日本で人を刺す蚊は、シマ模様のあるヒトスジシマカ(ヤブカ)と、茶褐色のアカイエカ(イエカ)が代表的だ。

ヤブカは草むらや木陰で待ち伏せしている。朝(午前6~9時ごろ)と夕方(午後4~6時ごろ)に近づいてきた人を刺す。

一方、イエカは夕方、窓やドアの隙間などから室内に入る。網戸

窓の隙間からやドアの開閉時に室内に侵入し、主に寝ている人を刺す。数分前から飛んでくることも



のほつれや台所の換気口から入ることもある。室内に潜み、夜になると刺すことが多い。

人を刺すのはメスだけ。血を吸って、産卵の栄養源になるためだ。血を凝固させないために出される唾液によりアレルギー反応が起き、かゆみや腫れを招く。かゆみや腫れが何日も続く人もいる。犬や猫を刺すこともある。刺されたときは、流水や氷などで冷やすと、かゆみを防げる。そのうえでかゆみ止めや腫れを抑える薬を塗る。蚊は水たまりや、放置されたバケツ、植木鉢の受け皿などにたまった水に産卵する。一度に50~200個ほど産卵し、10日前後で成虫になる。蚊は病気を媒介する。2014年、国内で発熱や筋肉痛を起こすデング熱が広がった。中南米を中心にジカウイルス感染症(ジカ熱)も問題になっている。

### 蚊に刺されないためにはどうするか。

#### ● 屋外でヤブカに刺されないためには



屋外では、なるべく肌を露出しない。蚊は白と黒を識別し暗い色を好むとされている。外出時はなるべく白など明るい色の衣類を身につける。

蚊がいる場所に出かけるときは、出かける直前にアルコールで足を消毒すると非常に刺されにくくなる。

スプレータイプの虫除け剤を顔に使うときは、吸い込んだり目に入ったりしないよう、手の平や布に噴射し塗り広げる。ディートという成分を使った虫除け剤は、12歳未満の子供に使用制限がある。

